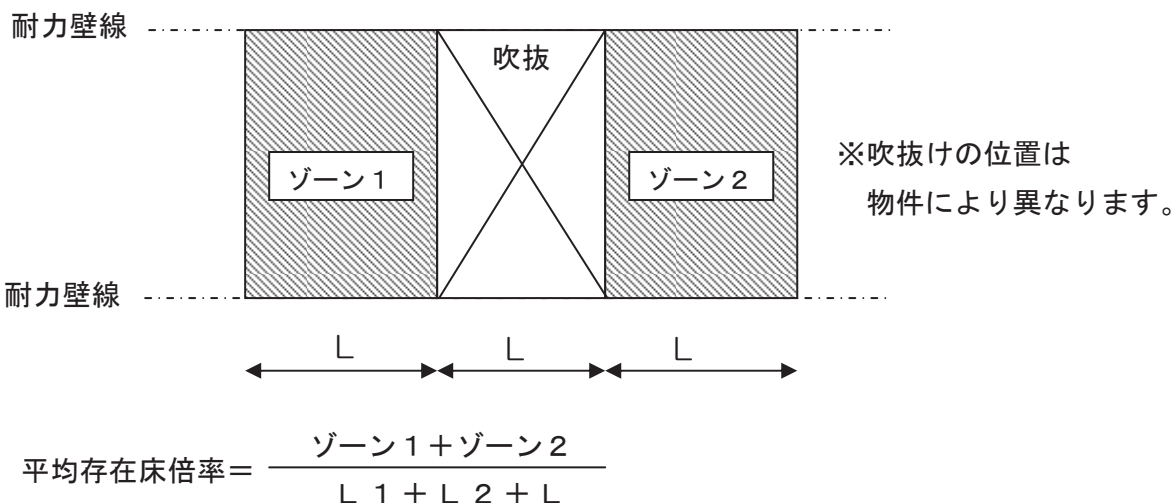
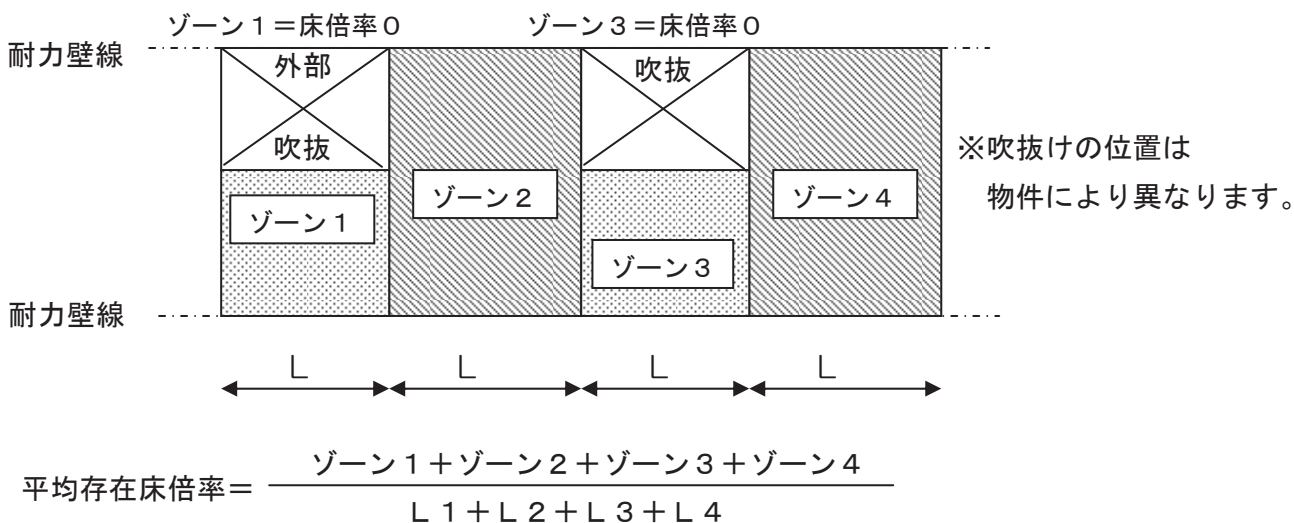


6 入力—表示基準— 床倍率計算の採用根拠

<ケース1>



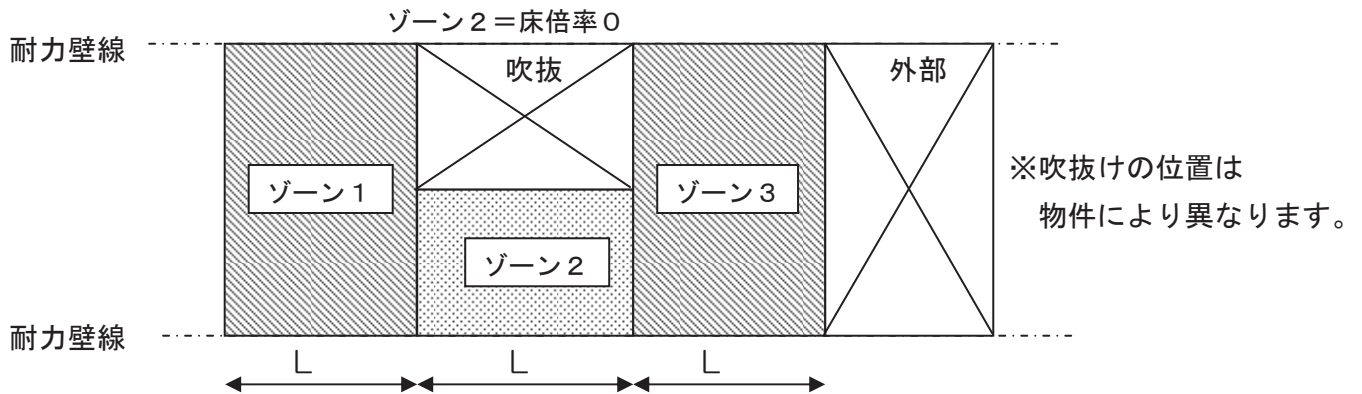
<ケース2>



<ケース3> 現在使用していません。

6 入力—表示基準— 床倍率計算の採用根拠

<ケース4>

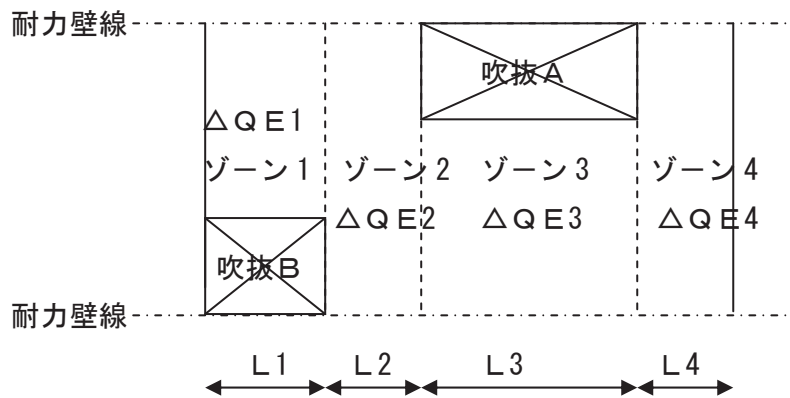


$$\text{平均存在床倍率} = \frac{\text{ゾーン1} + \text{ゾーン2} + \text{ゾーン3}}{L1 + L2 + L3}$$

<ケース5> 現在使用していません。

<ケース6-1>

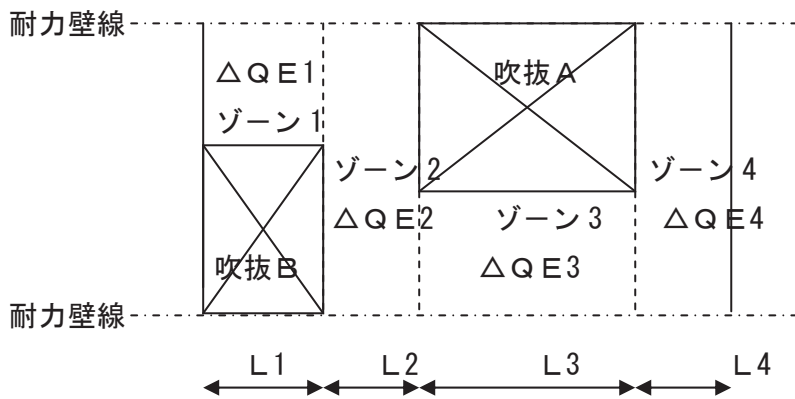
図の様に1方向で吹抜Aと吹抜Bが重ならないのであれば、L1とL3を比べて大きい方の吹抜のみを吹抜けとみなす。



$$\text{平均存在床倍率} = \frac{\Delta QE1 \times L1 + \Delta QE2 \times L2 + 0 \times L3 + \Delta QE4 \times L4}{L1 + L2 + L3 + L4}$$

<ケース6-2>

吹抜Aと吹抜Bが重なる場合には、両方を吹抜けとみなす。



平均存在床倍率 =
$$\frac{0 \times L1 + \Delta QE2 \times L2 + 0 \times L3 + \Delta QE4 \times L4}{L1 + L2 + L3 + L4}$$